

「JR 磐田新駅」工事がスタート 平成 32 年 3 月開業予定

地区住民請願から 30 年、待望の新駅が起工いたしました（6 月 11 日）。地元自治会長ら関係者 120 人が出席。神明中学生が式典の司会を努め、上川生徒会長は「磐田新駅を利用できる日を楽しみにしています。たくさんの人の思い出が生まれる素敵な場所になってほしいです。」と新駅への思いを語りました。

在来線と新幹線をまたぐ 90m の連絡通路を併設 総事業費約 4.9 億円。



立派でした。上川拳司生徒会長



鍬入れ式には新駅工事着工に先がけて周辺の区画整理・開発に尽力されてこられた新貝土地区画整理組合石野理事長、鎌田第一土地区画整理組合江塚理事長の姿もありました。感無量のご様子でした。

東部地区では、「磐田東部まちづくり協議会」が平成 27 年 12 月発足いたしました。東部 4 地区の地区長・副地区長、交流センター長、区画整理組合代表らで組織されました。設立目的は(1)新駅設置事業・基金への協力(2)東部地域の魅力づくり・まちづくりです（藤原孝一会長、川島善昭副会長）。協議が進んできており、間もなく地域住民への提案等も出てくるかと思えます。

「(仮称) 磐田市文化会館」の建設候補地を選定 アミューズ豊田南側敷地

磐田市民文化会館建設検討委員会は、1 年間の検討期間を経て建設位置について答申し、市はそれを受けて豊田地区に移転を決定いたしました。現アミューズ豊田の南側に隣接し、新たな文化振興ゾーンとして整備する方針です。十分な駐車場、地盤の良さ、効率的な敷地運用が決めてとなったようです。2020 年度末に完成予定。

当地区に文化施設が集中され、豊田地区への片寄り感もありますことから、市中央部・市東部地域の方々からすれば不満の思いもあろうかと思いますが、他の候補地 4ヶ所（市民文化会館跡地・今之浦私有地・磐田新駅北側・かぶと塚公園）にしても、各々長所・短所がありますので、いたしかたなしの妥当な選定と史料いたしました。



鎌田神明宮式年遷宮 40 年ぶりの「お木曳」

伊勢神宮につながる神田神明宮では、神宮と同様 20 年毎に御殿やそれに関わる建物を新しく造り替える式年遷宮が行われており、本年は伊勢神宮から拝受した“御用材”を使用して実施されます。40 年前の遷宮にても、御用材を頂戴して行われた歴史があります。

その御用材を 250 年前に作られた奉曳車に載せて一の鳥居から神社境内まで約 1km を曳く行事「お木曳」が 7 月 17 日行われました。40 年ぶりの荘厳な式典でした。



到着した境内において、氏子代表による“木遣り”披露。



3 年のブランクカバー “外国人防災訓練”

住民の半数以上が外国人（主にブラジル人）という東新町県営住宅、公団住宅で“外国人防災訓練”が行われました。3 年のブランクを経ての復活でした。（7 月 24 日（日））

地区自治会・両団地自治会長の努力、そして消防署・消防団の協力を敬意を表さずにはいられません。この訓練の主役になってくれたのが、20 歳前の若者たちでした。小学・中学時代に、地域や学校を大いに手こずらした彼等の成長を大変うれしく思ったものでした。



ブランクフルトのお土産がついた炊き出し訓練に長蛇の列。

